

令和7年8月13日
原子力安全対策課
(07-21)
<15時資料配布>

大飯発電所3号機の原子炉起動および調整運転の開始について (第21回定期検査)

このことについて、関西電力株式会社から下記のとおり連絡を受けた。

記

第21回定期検査中の大飯発電所3号機（加圧水型軽水炉：定格電気出力118.0万kW）の原子炉起動および調整運転の開始予定等は次の通りである。

第21回定期検査開始	: 令和7年6月1日（実績）
原子炉起動	: 令和7年8月14日
臨界	: 令和7年8月15日
調整運転開始	: 令和7年8月16日
営業運転再開（総合負荷性能検査終了）	: 令和7年9月10日

1 主要工事

○放射線監視装置信号処理盤取替工事（図－1参照）

電子部品の製造中止等に伴う保守性向上の観点から、放射線管理施設エリアモニタリング設備およびプロセスモニタリング設備のうち放射線監視装置信号処理盤（5面）を取り替えた。

2 2次系配管の保全対策（図－2参照）

関西電力㈱の定めた「2次系配管肉厚の管理指針」に基づき、2次系配管514箇所（主要点検部位：377箇所、その他部位：137箇所）について超音波検査（肉厚測定）を実施した。また、6箇所については、内面目視点検を実施した。その結果、必要最小厚さを下回っている箇所および次回定期検査までに必要最小厚さを下回る可能性があるとして評価された箇所はなかった。

また、今回の点検において減肉傾向が認められた部位1箇所、過去の点検において減肉傾向が確認された部位1箇所、配管取替時の作業性を勘案した部位6箇所の合計8箇所を炭素鋼、または耐食性に優れたステンレス鋼の配管に取り替えた。

3 蒸気発生器伝熱管の渦流探傷検査結果

蒸気発生器4台（A～D）のうち、B、D－蒸気発生器伝熱管全数※について渦流探傷検査を実施し、異常のないことを確認した。

※B：3,382本、D：3,382本、計：6,764本

4 燃料集合体の取替え

燃料集合体全数193体のうち、73体（うち、56体は新燃料集合体）を取り替えた。

燃料集合体の外観検査（30体）を実施し、異常のないことを確認した。

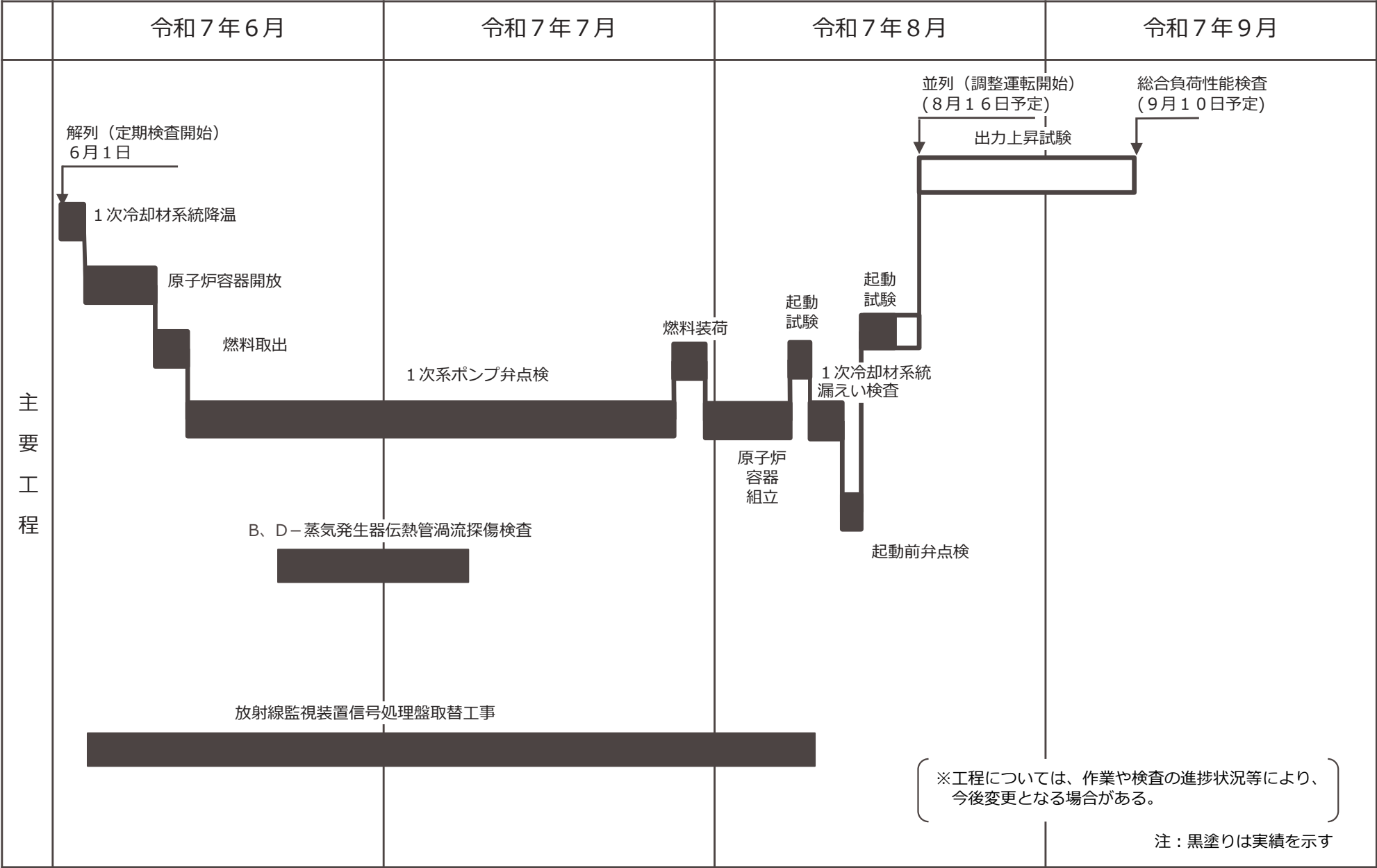
5 次回定期検査の予定

令和8年10月上旬

問い合わせ先 原子力安全対策課（小中） 内線 2351・直通 0776(20)0314

大飯発電所 3 号機 第 2 1 回定期検査の作業工程

(令和 7 年 8 月 1 3 日現在)



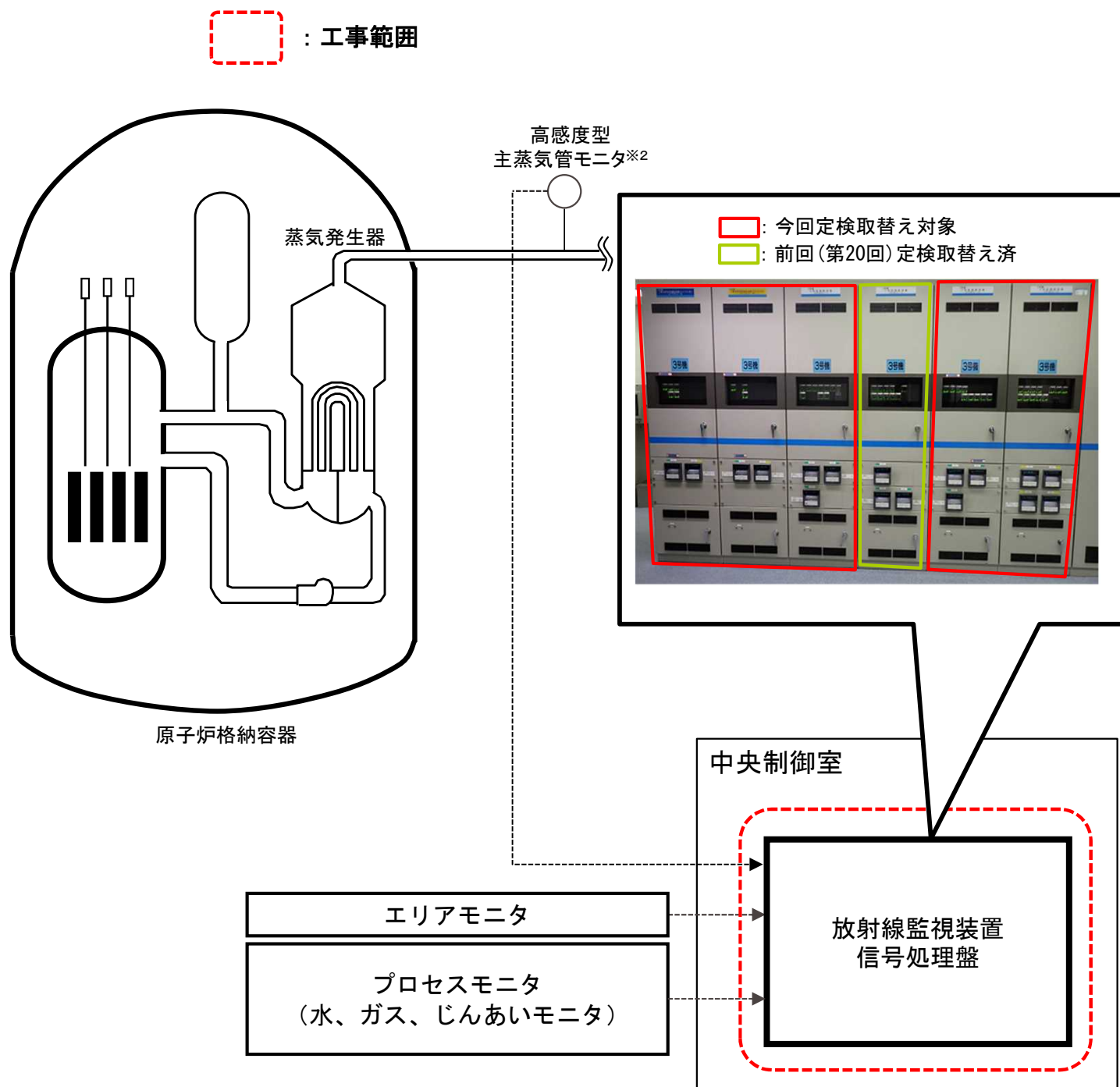
図－１ 放射線監視装置信号処理盤取替工事

工事概要

電子部品の製造中止等に伴う保守性向上の観点から、放射線管理施設エリアモニタリング設備およびプロセスモニタリング設備のうち放射線監視装置信号処理盤※１（５面）を取り替えた。

※１：放射線量を計測するモニタから送られる電気信号を、線量当量率等に変換し表示させる処理盤。
また、線量当量率等の上昇を検知した際には、警報を発信させる。
高感度型主蒸気管モニタが接続されている放射線監視装置信号処理盤（１面）は前回（第２０回）定検で取替え済。

概要図



※２：蒸気発生器伝熱管から１次冷却材の漏えいが発生した場合に早期に検知すべく、主蒸気管での放射線量の上昇を高感度で検出するモニタ（前回（第20回）定検で取替え済）

図－2 2次系配管の保全対策

点検概要

合計 5 1 8 箇所について超音波検査（肉厚測定）等を実施した。
その結果、必要最小厚さを下回っている箇所、および次回定期検査までに必要最小厚さを下回る可能性があるとして評価された箇所はなかった。

○ 2次系配管肉厚の管理指針に基づく超音波検査（肉厚測定）部位および内面目視点検

	「2次系配管肉厚の管理指針」 の点検対象部位	今回点検実施部位	
		超音波検査（肉厚測定）	内面目視点検
主要点検部位	1, 2 9 0	3 7 7※	6※
その他部位	1, 2 2 8	1 3 7	—
合計	2, 5 1 8	5 1 4	6
		5 1 8※	

※高圧排気管の直管部 6 箇所について、配管内面から目視点検を実施した結果、2 箇所は配管内面に減肉が認められたため、目視点検に加えて、超音波検査（肉厚測定）を実施した。

交換概要

今定期検査において、合計 8 箇所について配管の取替えを実施した。

<交換概要>

交換理由	交換前	交換後	箇所	計
今回の点検において減肉傾向が認められた箇所	炭素鋼	炭素鋼	1	1
過去の点検で減肉傾向が確認されているため計画的に取り替える箇所	炭素鋼	ステンレス鋼	1	1
配管取り替え時の作業性を勘案して取り替える箇所	炭素鋼	ステンレス鋼	6	6

[合計 8箇所]

<系統別概要図>

